

第33回

うつのみやこども賞だより

平成28年度 8回

市内5・6年生の選定委員さんたちが、月に4冊の本を読んで、年間で一番人気の高かった本に「うつのみやこども賞」を贈っています。

《今月選ばれた本》

『落語少年サダキチ』

田中啓文／著（福音館書店）

～読んだ本の感想より～



- タイムスリップした時のだだしのあわてぶりがおもしろかった。また、2人の平林作戦がすごくおもしろかった。
- 平林の読み方がふつうじゃないので、とてもおもしろくて笑いころげてしまいました。
- プロの落語を聞いてみたくなった。
- 『落語』という世界について、とてもよく分かった。あまり落語にふれる機会というものがないので、読んでいて少ししんせんだった。

●読んでいると、すぐ次のページをめくりたくなるような、おもしろい本でした。

●落語がここまでおもしろいものなのかとびっくりし、とても興味をもった。タイムスリップしたさきの江戸時代の町や人々の様子がいろいろ書いてあって勉強になった。

●江戸時代でケロケロイハチイハチと言っている所がおもしろかった。

『金魚たちの放課後』 河合二湖／著（あすなろ書房）

- 金魚の畑を私もみてみたいなと思いました。金魚だけでストーリーが進んでいくのでおもしろいと思いました。
- 慎が自分の手の指を「死神の指」といいながら、がんばって金魚を育てているところが「すごいな」と思った。
- 住宅街の中にふつうに金魚の畑があるという設定にびっくりした。
- 灰原君側と、遠藤さん側からの書き方があって、読んでいて、楽しかったです。
- 私の学校やほかの学校の多くは、メダカをかうのに、この本では金魚をかう話でおどろきました。私も金魚をかってみたいです。
- 金魚を大切にしているところがよかったです。

『リジェクション』 佐藤まどか／著（講談社）

- 最初に「心臓移植」と書いてあって、私は少し読み進めるのがこわくなりました。
- 命の大切さと感謝を忘れずに、1日1日を大切にすごして、恩を忘れないところがよかった。
- けいさつにつかまるかもしれないと、ずっとハラハラしながら読みとおすことができ、おもしろかった。
- この後、ママとルカにアシュレイの気持ちがちゃんと伝わればいいなと思いました。
- 心そうにも記憶がのこっているということにおどろきました。
- 僕もきっかけを大切に成功させたい。

『私のスポットライト』 林真理子／著（ポプラ社）

- 「自分だけのスポットライト」、読んでいてひびきがいいなと思いました。自分だけのスポットライトをあびる場所をこれからたくさん作っていきなさいと思いました。
- 彩希のお父さんがいった、運のいい子と頑張る子では、最後は頑張る子が残るとい言葉が、とてもいい言葉だなと思いました。
- 周りを気にせず、やりたい事に集中する姿は、読んでいて、すごいなと思いました。
- ふつうの子だって、やろうと思えばできるという気持ちがあればできるということが分かった。
- 彩希がいとこの美冬と協力しあうところが感動した。
- 強いのは、1軍の人でもない気付いた、さきはよかった。